



analytica

9.-12. APRIL | 2024



Messe München

ファイナルレポート

第 29 回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー専門見本市・会議

2024 年 4 月 9 日～12 日

2024 年 4 月 12 日

analytica 2024 : ラボラトリー分野において世界をリードする見本市の地位を実証

Summary

- 42 カ国から 1,066 社が出展、117 カ国から約 34,000 人が来場
- analytica カンファレンスの参加者数が新記録
- これからのラボラトリーにおけるデジタル化と持続可能性に焦点を当てる



Facts & Data

会 期	2024 年 4 月 9 日(火)～12 日(金) 午前 9 時～午後 6 時(最終日午後 4 時まで)
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	メッセ・ミュンヘン(Messe München GmbH)
規 模	全 5 ホール 約 55,000 m ² (2022 年:55,000 m ²)
出 展 企 業	42 カ国から 1,066 社 (2022 年:39 カ国から 882 社)
来 場 者 総 数	117 カ国から約 34,000 人 (2022 年:111 カ国から 26,573 人)
専 門 分 野	ラボテクノロジー、分析技術、品質管理、バイオテクノロジー・ライフサイエンス・診断技術
主 な 出 展 品	アプリケーション、分析・診断機器・処理・技術、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置、試薬・化学製品、バイオテクノロジー公衆衛生関連技術、スタートアップフォーラム(技術交流、各種コンサルティングほか)
専 用 U R L	www.analytica.de (英語 / ドイツ語)

4月9日から12日までミュンヘンで開催された analytica 2024 では、展示会場は最高に盛り上がり、活発な議論が交わされ、通路は大いに混雑した。世界をリードするこの見本市では、出展者 1,066 社が、来場者約 34,000 人に、ラボ技術、分析、バイオテクノロジーの全分野におけるイノベーションを披露した。そして、各ブースや広範なカンファレンス、サポートプログラムでは、デジタルで持続可能なラボラトリーへのソリューションについて大いに議論された。

メッセ・ミュンヘンの CEO Reinhard Pfeiffer は、「analytica 2024 は今回も大成功を収め、業界再編が進む中、ラボラトリー分野で世界をリードする見本市としての地位を明確に確認することができた」と述べる。

メッセ・ミュンヘンで analytica を担当する Armin Wittmann と Susanne Grödl は、「出展者数と来場者数の両方において、パンデミック前に開催されたイベントから着実に引き継ぐことができている」と述べ、「analytica が業界の世界的な専門知識を結集するものであることを誇りに思う。そして、

汚染物質の分析、病気の早期発見、ワクチンの開発など、日常生活のさまざまな分野で進歩を可能にしているのは、この業界の革新的な力だと考える」と話す。Chairman of the Advisory Board 兼 Vice President Microscopy Imaging Solutions Sales EMEA at Evident Europe の Siegbert Holtermüller 氏は、analytica は、「あらゆる分野において常に新しいテクノロジーの紹介を組み入れ、新規顧客を獲得するための優れたプラットフォームである」と言う。



熱意あふれる出展者

Lauda 社の CEO Gunther Wobser 氏は、「誰もがこの analytica を待ち望んでいた。多くの来場者と多くの有益な議論が交わされ、経済的に厳しい時期にある私たちや業界全体に強力な推進力を与えてくれた」と述べる。Schmidt + Haensch 社の Managing Director であり、業界団体 Spectaris の Chairman of the Analytical, Bio and Laboratory Technology Division である Mathis Kuchejda 氏も、同じ考えだとして、「多くの革新的な製品、世界中から多くの顧客、最新トレンド情報のいずれの視点からも、今年の analytica は、分析、バイオテクノロジー、ラボテクノロジーに関する世界有数の見本市であり、業界内の出会いの場であるという評価に再び応えた。全体として、出展者も来場者も非常に良い雰囲気であった」と述べている。

U.S. association Alda の President 兼 CEO の Mike Copps 氏は、この analytica で、多くの業界関係者や国際的パートナーと会う機会が得られたこと、わずか数日間で多数の関係者と対面して多くのことが成し遂げられたことを高く評価している。

集客力のある強力なサポートプログラム

見本市の主なトピックを広くカバーする多彩なサポートプログラムが開催され、来場者にこれからのラボラトリーを実際に体験できる機会を提供した。analytica の Deputy Exhibition Director である Susanne Grödl は、「来場者たち皆は、デジタル化、AI、持続可能性に関する提案に共感を覚えたことと思う。それぞれのフォーラムや



カンファレンスプログラムには非常に多くの人々が参加した。これは、「業界を方向付けする知識の提供」という主催者側のコンセプトが、今年も analytica で完全に成功したことを証明したものである」と語る。

標準的なラボラトリープロセスが 1 日 3 回行われた Live Lab は常に参加者で満員となり、その特別スタンド席は常に満席であった。Digital Transformation スペシャル・ショーでは、1 日数回、来場者が未来のスマートラボを体験したり試用したりすることができる催しも用意されていた。この二つのスペシャル・ショーは合わせて約 3,500 人を集めた。また、労働

安全衛生フォーラムでは、日常的なラボ作業の危険性に関して、爆発リスクを例に挙げて実演で説明された。特にリチウムイオン電池の取り扱いについては、具体的レベルで詳細な説明が加えられた。また、見本市最終日に開催された Job day も大好評であった。そこでは、新卒者や若い担当者たちが、数多くのプレゼンテーションを通して、この業界におけるキャリアの見通しに関する情報を得ることができ、先々可能性のある雇用主と出会うこともできた。



専門家のノウハウが凝縮されたカンファレンス

今回の Analytica カンファレンスへの参加者数は

2,225 名。これは新記録である。特に、持続可能性をテーマとしたセッションと診断やフォレンジックに関する AI のセッションは満員であった。

Duisburg-Essen 大学の教授 Oliver J. Schmitz 氏は、「analytica カンファレンスでは、例年どおり今回も、180 題を超えるトップクラスの講演で幅広い分析テーマを取り上げ、見本市会場を理想の形に補完した」と総括する。講義プログラムでは、業界のホットなトピックスに加えて、アナリティクスの学際的なポテンシャルについて、たとえば、古い油絵の分析、考古学、刑事事件の解決といったテーマについても取り上げられた。

数字で見る analytica 2024

42 の国と地域から 1,066 社が出展。そのうち 53% が国外からの出展者であり、ドイツに次ぐ上位 10 カ国は、中国、アメリカ、イタリア、イギリス・北アイルランド、スイス、オランダ、フランス、韓国、インド、オーストリアの順である。そして、117 の国と地域から約 34,000 人が来場し、そのうち国外からの来場者の割合は約 39%。ドイツに次ぐ上位 10 カ国は、オーストリア、スイス、イタリア、イギリス・北アイルランド、フランス、オランダ、中国、スペイン、アメリカ、ポーランドの順となっている。

次回の analytica は、2026 年 3 月 24 日から 27 日まで、analytica カンファレンスと併せて開催の予定。

出展日本企業（現地法人・代理店出展含む）：

(株)アルバック、(株)エアーテック、SMC(株)、(株)エス・テイ・ジャパン、(株)ウエルコ、(株)エリオニクス、檜山工業(株)、
関東化学(株)、(株)キーエンス、京セラ(株)、(株)島津製作所、島津ダイアグノスティクス(株)、ジーエルサイエンス(株)、
(株)写真化学、(株)清和光学製作所、ダイトロン(株)、田中科学機器製作(株)、東亜ディーケーケー(株)、東ソー(株)、
ナカライテスク(株)、(株)ニコン、日東工器(株)、日本ジェネティクス(株)、日本電子(株)、日本トムソン(株)、社団法人日本
分析機器工業会、日本分光(株)、ネクサス(株)、(株)ハイロックス、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、(株)平山製作
所、富士フイルム和光純薬(株)、藤森工業(株)、(株)堀場製作所、マイクロ・イクイップメント(株)、(株)マイクロサポート、
(株)リガク、(株)レゾナック、(株)ワイエムシィ 他(50音順)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)